

静岡県緑化推進計画

【事業個票・評価シート・管理指標】

静岡県

2026年6月

目次

1 主な取組 事業個票・令和7年度評価シート

基本施策	No	取組名	部局名・担当課名 / 団体名		ページ
(1) 花と緑のある 安らぎの場の拡大	1	緑化資材の提供	静岡県グリーン バンク	(環境ふれあい課)	4
	2	花の都づくり	経済産業部	農産振興課	6
	3	花育活動(寄せ植え)	静岡県グリーン バンク	(環境ふれあい課)	8
	4	里山学習施設の管理運営及び プログラムの提供	くらし・環境部	環境ふれあい課	10
	5	(欠番)	—	—	—
	6	しずおか棚田・里地くらぶ	経済産業部	農地保全課	12
	7	ふじのくに色彩・デザイン指針	交通基盤部	景観まちづくり課	14
	8-1	豊かな暮らし空間創生	くらし・環境部	住まいづくり課	16
	8-2	安全で美しいいえなみ整備	くらし・環境部	住まいづくり課	18
(2) 芝と親しみ、 スポーツを楽しむ 機会の増大	9	芝生地の普及支援、管理支援	静岡県グリーン バンク	(環境ふれあい課)	20
	10	芝生アドバイザーの育成・活用	静岡県グリーン バンク、 芝草研究所	(環境ふれあい課)	22
	11	用途に応じた芝生の開発	芝草研究所	(環境ふれあい課)	24
	12	工場緑化セミナー・緑化優良 工場等表彰	経済産業部	企業立地推進課	26
	13	県営都市公園の指定管理に よる芝生の良好な維持	交通基盤部	公園緑地課	28
(3) 花と緑による おもてなし空間の創造	14	花と緑のおもてなし空間整備 支援	静岡県グリーン バンク	(環境ふれあい課)	30
	15	公共施設の緑化	各部	県営施設所管課	—
		(県庁本庁舎)	財務部	財産管理課	32
		(県立美術館、地球環境史 ミュージアム、グランシッ プ、舞台芸術公園)	スポーツ・文化観光部	文化政策課	34
		(日本平夢テラス)	スポーツ・文化観光部	観光政策課	36
	16	県立森林公園アカマツ林再生	くらし・環境部	環境ふれあい課	38
	17	(欠番)	—	—	—

基本施策	No	取組名	部局名・担当課名 / 団体名		ページ
(4) 花と緑があるまちの 魅力の向上と発信	18	さくら愛護思想普及の推進	静岡県さくらの会	(環境ふれあい課)	40
	19	さくらの保護育成	静岡県さくらの会	(環境ふれあい課)	42
	20	ふじのくに花の都しずおか・ 花緑コンクール、花育活動の 推進	経済産業部	農産振興課	44
(5) 社会総がかりの 緑化活動への参加促進	21	しずおかアダプト・ロード・ プログラム	交通基盤部	道路保全課	46
	22	リバーフレンドシップ制度	交通基盤部	河川企画課	48
	23	ふじのくに美農里プロジェクト	経済産業部	農地保全課	50
	24	一社一村しずおか運動	経済産業部	農地保全課	52
	25	森づくり県民大作戦	くらし・環境部	環境ふれあい課	54
	26	しずおか未来の森サポーター	くらし・環境部	環境ふれあい課	56
	27	森の防潮堤づくり	経済産業部	森林保全課	58
	28	緑化グループ支援事業	静岡県グリーン バンク	(環境ふれあい課)	60
(6) 緑化活動の核となる 人材の育成	29	緑化コーディネーターの 育成・活用	静岡県グリーン バンク	(環境ふれあい課)	62

2 管理指標

1 主な取組

事業個票・令和7年度評価シート

緑化推進計画 事業個票

取組番号	1		
事業・取組名	緑化資材の提供		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造		
基本施策	(1) 花と緑のある安らぎの場の拡大		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	<p>花の会、町内会、老人会等の地域の団体が緑化ボランティア活動として、身近に利用されている学校、公園、公民館等の公共施設の緑化活動を行うことに対して、緑化資材を無償配布し、街ぐるみの緑化を支援する。</p>		
目標	<p>緑化資材の提供先を毎年度4,000団体実施することで、花づくりや緑化活動に多くの県民が携わり、公共的な施設等に花と緑のある安らぎの場を提供する。</p>		
評価方法	<p>定期配布事業の年間提供先の件数により、評価する。</p>		
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> 自治会、花の会、PTAなどの地域の団体が、公民館、公園、学校、道路等公共的な場所に植栽又は設置するために必要な草花の種子・球根、樹木等の資材を市町を通して無償で配布し、花と緑溢れる街づくりを支援した。 平成30年度から令和7年度までの累計は利用団体数34,684団体（年間平均4,335団体）で、球根5,556,114個、種子2,021Q、桜11,660本、ツツジ4,382本、サツキ4,719本、その他苗木23,066本の配布を実施した。（年2回） 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> ボランティア団体の要望や市町との連携を密にし、ボランティア団体から要望の多い緑化資材の配布を実施した。 各種物価が高騰するなか、ボランティア団体が望む緑化資材や数量を安定的に提供できるように努めた。 要望が多く利用しやすい緑化資材の提供を行うとともに、特色ある緑化資材も提供した。 			


評価シート

取組番号	1				
事業・取組名	緑化資材の提供				
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課		
令和7年度事業費	19,871千円				
令和7年度の実績					
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の利用団体数は4,027団体で、球根548,650個、種子2030、桜1,025本、ツツジ513本、サツキ575本、その他苗木2,356本、炭1,025袋の配布を実施した。（春と秋の2回配布）また、配布団体より、花壇の維持管理に必要な肥料等の配布を希望する意見もあったため予算の範囲内で、肥料を追加で配布した（春配布） 					
目標に対する評価					
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度利用団体数は、目標4,000団体、実績4,027団体、達成率100.6%。 地域の緑化ボランティア団体が行う公共的花壇の維持管理に必要な緑化資材の供給源として周知され、多くの県民が緑化活動に携わり不可欠な事業となっている。 定期配布事業により提供された資材により、公園や学校など地域の公共花壇が花と緑で彩られ、市民に安らぎを与えることができている。 					
今後の取組方針					
<ul style="list-style-type: none"> 市町と連携しボランティア団体のニーズを把握し、要望の多い緑化資材の提供を行う。 各種コストが高騰しているため、市場の動向を注視し、予算の範囲内で安定した数量と種類の確保を図る。 桜を含む樹木や炭の配布は、他の予算の動向により検討する。 					
参考（写真・図表等）					
○定期配布					
年度	H30～R3年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
利用団体	22,300	4,269	4,088	4,027	34,684
球根（個）	3,721,999	645,900	639,565	548,650	5,556,114
種子（0）	1,358	255	205	203	2,021
桜（本）	8,565	1,025	1,045	1,025	11,660
ツツジ（本）	2,867	449	553	513	4,382
サツキ（本）	3,042	549	553	575	4,719
その他苗木（本）	15,277	2,830	2,603	2,356	23,066

緑化推進計画 事業個票

取組番号	2		
事業・取組名	花の都づくり		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農産振興課
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造		
基本施策	(1) 花と緑のある安らぎの場の拡大		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 緑化維持	<input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援	<input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 広報
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> その他		
概要	地域や企業等での花や緑の利活用の推進や若い世代への花への関心を高めることにより、花の都づくりを推進する。		
目標	暮らしの様々な場面で花と緑があふれる「花の都しずおか」を実現するため、花の魅力の発信や花に触れる機会を創出する。		
評価方法	ホームページ閲覧数 (31,000件/年) 花緑出張サービスで実施した花育講座受講者数 (2,400人/年)		
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや、SNSを活用し、花に関する情報を発信し、花緑への関心を高めた。 ・「花と暮らす」をテーマに、インスタグラムフォトコンテストを開催し、入賞写真を広報することで、花のある暮らしについて魅力を発信した。 ・「花の都しずおかアドバイザー」を、地域や学校等が実施する園芸教室等に派遣する「花緑出張サービス」を実施し、多数の児童生徒に花に触れる機会を提供した。 ・集客イベント会場の来場者に、花を花瓶に生け、出来上がったものを家に持ち帰ってもらう「県産花きの楽しみ方体験会」を実施し、花のある生活を体感してもらった。 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやSNSを活用した情報発信により、県民の花緑への関心を高めた。 ・「花緑出張サービス」や「県産花きの楽しみ方体験会」等の実施により、県民に花に触れる機会を創出したり、花のある生活を体感してもらった。 			


評価シート

取組番号	2		
事業・取組名	花の都づくり		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農産振興課
令和7年度事業費	3,152千円		
令和7年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにて、花緑出張サービス等の県事業の紹介や、Instagramフォトコンテストの入賞写真の紹介等を行った。令和7年度ホームページ閲覧数 718件 ・「花の都しずおかアドバイザー」を、地域や学校等が実施する園芸教室等に派遣する「花緑出張サービス」を実施した。令和7年度実績 花育講座受講者数 1,503人 ・住宅展示場や地域イベントに参加し、「県産花きの楽しみ方体験会」を実施した。体験会参加者387人 			
目標に対する評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ閲覧数は昨年度実績（13,569件）に比べ大幅に減少した。原因として、これまで外部サーバーで公開していたものを県農産振興課ホームページ内に移設したことにより閲覧頻度が減少したと考えられる。 ・「花緑出張サービス」による花育講座の受講者数は目標人数の約63%であり、目標を達成できなかった。 			
今後の取組方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやSNSを活用した情報発信を継続・強化し、県民の花緑への関心を高めていく。 ・花緑出張サービスを実施し、県民に花に触れる機会を創出する。 ・「県産花きの楽しみ方体験会」を実施し、花のある生活を体感してもらう。 			
参考（写真・図表等）			
			
<p>花の楽しみ方体験会の様子</p>			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	3		
事業・取組名	花育活動（寄せ植え）		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造		
基本施策	（1）花と緑のある安らぎの場の拡大		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	子どもたちが、自分の手で土や苗を触る体験を通して、緑との関わりや優しい心を育む「花育教室」の開催を支援する。		
目標	幼稚園等が花育研修を実施することで、子供達が幼少期から花や緑と親しむ機会をつくり、緑化活動の重要性と命の大切さを醸成する。		
評価方法	花育研修を実施する幼稚園・保育園・こども園にアンケート調査を実施することで、事業効果を評価する。		
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・将来の緑化推進の担い手を育てるために、子供の頃から花や緑と親しみ自らの手で育てる機会をつくる花育教室を幼稚園・保育園等を対象に実施した。 ・平成30年度から令和7年度までの累計参加園数は1,780園、累計参加園児数は51,202人である。 ・コロナ禍により、これまでの集合研修からテキストや説明動画を使ったeラーニング方式に変更した。 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> ・事業として定着し園の恒例行事に成長しているので、これまでのやり方を継続し要望事項がある場合は検討し改善を図った。 ・これまで年中、年長を対象としていたが、令和3年度から年長のみを対象とした。年中も対象としたい要望もあったので、令和7度より再び年中を対象とした。 ・市町により実施する園の数に温度差があるので、市町と連携し実施園の増加を図った。 			

評価シート

取組番号	3				
事業・取組名	花育活動（寄せ植え）				
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課		
令和7年度事業費	8,597千円				
令和7年度の実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の参加園数は公立133園、私立163園、合計296園である。 ・実施園のアンケート調査では、「花育教室を実施して良かったか」に対し実施園の100%が「良かった」と回答。自由意見として、「植物への興味、関心が高まった」「自分で選んで作ることへの喜びと達成感」などの効果があったと回答している。 ・令和7年度より、年長児の実施を条件とし、対象園児を拡大し予算の範囲内で年中児も実施の対象とした。実施園の約30%から年中児の申請があった。 					
目標に対する評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・花育教室を現在の方式で実施するようになった平成28年度と現在の令和7年度を比較してみると、参加園数で360.9%、参加園児数で301.5%と大幅に伸長しており、目標である幼少期から花や緑と親しみ緑化活動の重要性と命の大切さを醸成する機会の創出につながっている。 					
今後の取組方針					
<ul style="list-style-type: none"> ・花育教室の実施園を増やすため、市町に幼稚園等にPRするように働きかけるとともに、園庭等芝生化モデル事業実施先にも引き続きPRする。 ・花育教室を指導する先生方を支援するため、花育教室の説明動画とテキストを見直し、より理解しやすい内容に改善する。 ・アンケート調査結果から事業の実施効果や改善点を把握する。 					
参考（写真・図表等）					
○花育教室					
年度	H30～R4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
参加園数（園）	967	247	270	296	1,780
参加人数（人）	30,404	6,287	6,395	8,116	51,202
					

緑化推進計画 事業個票

取組番号	4		
事業・取組名	里山学習施設の管理運営及びプログラムの提供		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造		
基本施策	(1) 花と緑のある安らぎの場の拡大		
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 広報
概要	<p>「遊木の森」や、「榛原ふるさとの森」における草刈りや、遊歩道の補修、トイレ修繕等を実施し、安全に利用できる環境を整えるほか、森林や里地・里山への理解促進にもつながる豊かな自然体験が出来るよう、森林環境教育プログラムを提供する。</p>		
目標	<p>自然ふれあい施設における自然体験プログラムを毎年度180回実施することで、県民が自然と気軽にふれあう機会を創出する。</p>		
評価方法	<p>自然体験プログラムの実施回数の実績により、評価する。</p>		
関連する管理指標の有無	<p><input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無 自然ふれあい施設(県立森林公園、県民の森)における自然体験プログラム実施回数(毎年度180回)</p>		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理として、草刈り、歩道の補修、トイレ管理、枯れ木の除去、森林の整備、施設の修繕等を実施した。 幼稚園・保育園、学校等の団体向けに森林環境教育プログラムを提供するとともに、森林環境教育の指導に必要な知識や技術を高めるため、OJT研修を実施した。 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> 「遊木の森」や、「榛原ふるさとの森」における草刈りや、遊歩道の補修、トイレ修繕等を実施し、安全に利用できる環境を整えることができた。 森林や里地・里山への理解促進にもつながる豊かな自然体験が出来るよう、森林環境教育プログラムを提供できた。 			

評価シート

取組番号	4		
事業・取組名	里山学習施設の管理運営及びプログラムの提供		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
令和7年度事業費	7,394千円		

令和7年度の実績

- ・自然ふれあい施設は設置から40年近く経過し老朽化が進んだ施設が多く、安全確保や利用者ニーズを考慮して計画的に施設の修繕及び更新を行っており、令和7年度は施設の適正な管理と運営を行うため、県立森林公園森の家の多目的ホール排煙装置修繕工事、昭和の森会館の渡り廊下修繕工事等を行った。
- ・森林環境教育指導者養成講座修了生や環境学習指導員等、一定の知識、技能を有する指導者等の活用を促進するため、人材バンクに登録し、静岡県環境学習ポータルサイトで公開した。

目標に対する評価

- ・「自然ふれあい施設における自然体験プログラム実施回数」は、指定管理者と連携した新たなプログラムの実施や、SNS活用による情報発信の強化等に取り組んだ結果、概ね目標を達成した。

管理指標：自然ふれあい施設における自然体験プログラム実施回数
令和7年度実績195回（達成率108.3%）

今後の取組方針

- ・自然ふれあい施設の指定管理者と連携し、SNS等を活用したイベント情報の発信や、より広域の学校に対する自然体験プログラムへの参加の働きかけ等により、新たな利用者を獲得する。
- ・市町職員向けの森林環境教育OJT研修等を開催するとともに、地域の森林環境教育指導者に講師を務めてもらうなど、指導者の活用を含めた支援に取り組む。

参考（写真・図表等）



森林環境教育指導者養成講座

緑化推進計画 事業個票

取組番号	6		
事業・取組名	しずおか棚田・里地くらぶ		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農地保全課
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造		
基本施策	(1) 花と緑のある安らぎの場の拡大		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	農業者の高齢化と後継者不足から棚田・里地の保全管理が困難になっている地域にボランティアやアドバイザーを派遣し、棚田・里地の維持・管理を目的とした保全活動、活性化及び組織の支援を行う。		
目標	しずおか棚田・里地くらぶによる棚田保全に係る意識啓発や、活動への参画を促す取組みにより各棚田保全活動への支援の輪を広げ、「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」全体の参画者数として、毎年度2,400人増を目指す。		
評価方法	しずおか棚田・里地くらぶの活動を含め、管理指標である「ふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数」により評価する。		
関連する管理指標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数(87,600人(2025/R7))		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<p>【広報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しずおか棚田・里地くらぶ公式ウェブサイトの開設 ・Facebook等を通じた棚田の魅力や情報の発信、ボランティア募集 ・棚田への訪問を促す広報ツールとして「棚田カード」を作成・配布 ・つなぐ棚田遺産の写真展を開催、エコプロに出展し県内棚田の魅力を全国に向け発信 <p>【協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しずおか棚田・里地くらぶ会員に対して、ニュースレターを発行しボランティア募集 ・企業や学校等と棚田保全組織の協働活動事例を紹介する情報誌「里風通信」を発行 <p>【人づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識を有するアドバイザーを保全団体に派遣 ・しずおか棚田ネットワークを構築し、棚田関係者が連携して課題解決を行う体制を整備。 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
様々なチャンネルから広く県民に棚田の魅力や棚田保全活動の必要性・重要性を発信し、支援を呼びかけることで、活動参加者を増加させた。また、県内棚田地域の関係者が連携し組織化することで、棚田を保全する体制を強化し、県内棚田が将来にわたって保全活動を継続させるための推進体制を整えた。 これら取組により、棚田保全活動を含む「ふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数」は令和7年度に90,025人となった。			

評価シート

取組番号	6		
事業・取組名	しずおか棚田・里地くらぶ		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農地保全課
令和7年度事業費	10,263千円		
令和7年度の実績			
<p>しずおか棚田・里地くらぶ公式ウェブサイトやFacebook、ニュースレター等を通じて、広く活動ボランティアを募り、棚田保全活動参加者の増加を図った。 (R7: 棚田保全活動参加者 1,372人)</p> <p>棚田の注目度を高め新たな活動参加者の増加につながるよう、静岡県公式メタバース空間にて「つなぐ棚田遺産」のパネル展示を実施、エコプロ2025において日本の棚田共同展示を行った。 棚田活動等へ大学生等の若年層の参加を促すため、農作業や地域イベントの取組に係る経費を支援した。</p>			
目標に対する評価			
<p>各棚田において、学生・企業等の多様な主体との連携を支援した結果、活動参加者が増加した。 (R7: ふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数 90,025人)</p>			
今後の取組方針			
<p>つなぐ棚田遺産に認定されたことから、気運醸成を高め、活動参加者数の増加を図る。 認定棚田： ・石部(松崎町)・茅野(伊豆市)・荒原(伊豆市)・北山(沼津市)・平成(富士宮市) ・千櫃(菊川市)・大栗安(浜松市)・久留女木(浜松市)・白櫃(浜松市)</p> <p>しずおか棚田ネットワークにより、県内棚田が連携し保全活体制を強化する。 令和8年度に浜松市で開催される全国棚田サミットを契機に、棚田保全への関心を一層高め、活動支援者の増加を図る。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
エコプロ2025にて、棚田の保全活動		棚田保全活動(田植え体験イベント)	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	7			
事業・取組名	ふじのくに色彩・デザイン指針			
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	景観まちづくり課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造			
基本施策	(1) 花と緑のある安らぎの場の拡大			
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 広報	<input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> その他
概要	公共施設の整備に際して、ふじのくに色彩・デザイン指針に基づき、景観に配慮した美しい緑化のデザインに努める。			
目標	高質な公共空間を形成するため、ふじのくに色彩・デザイン指針に基づき公共施設整備を推進する。			
評価方法	高質な公共空間の形成に資する研修会への参加市町数により評価する。			
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績				
<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に、国の道路デザイン指針の改定、ふじのくに景観形成計画の策定等を踏まえ、「ふじのくに色彩・デザイン指針」を改定し第4版とした。また、令和7年度には、ふじのくに景観形成計画が改定されたことに伴い、指針を改定し、「しずおか色彩・デザイン指針」として第5版を発行した。 景観担当者説明会や土木技術職員研修等様々な機会を捉え、県及び市町職員に向けて、「ふじのくに色彩・デザイン指針」の説明会や研修会を行った。 県が施工する公共事業のうち、景観に与える影響が大きいものについて、景観の専門家による景観検討を実施し、高質な公共空間の形成及び職員の技術力向上を図った。 				
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括				
<ul style="list-style-type: none"> 「ふじのくに色彩・デザイン指針」の充実を図りつつ普及啓発に努め、職員の景観形成に対する意識の向上と高質な公共空間の形成を推進することができた。 職員の景観への意識の高まりとともに、専門家による景観検討が行われるようになってきた。 				

評価シート

取組番号	7		
事業・取組名	ふじのくに色彩・デザイン指針		
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	景観まちづくり課
令和7年度事業費	0千円		

令和7年度の実績

- ・年度当初に土木職員を対象とした技術研修において、公共事業における景観配慮の指針や検討体制について周知した（受講者数2回116名）。また、建設技術監理センターで開催した土木技術職員研修「景観形成と環境創出」研修（基礎編・演習編）及び「ふじのくに色彩・デザイン指針」及び「運用編」研修では、ふじのくに色彩・デザイン指針の内容及び実践例について講義した（受講者数69名）。
- ・県が施工する公共事業のうち、景観に与える影響が大きいものについて、景観の専門家による景観検討を行った（沼川新放水路など12件）。
- ・静岡県の総合計画が改定したことに伴い「ふじのくに景観形成計画」が改定されたため、指針を改定し、「しずおか色彩・デザイン指針」とした第5版を発行した。

目標に対する評価

- ・高質な公共空間の形成に資する研修の参加市町数は35市町であり、「ふじのくに色彩・デザイン指針」に対する理解を深め、指針に基づく公共施設整備を推進した。

今後の取組方針

- ・引き続き「しずおか色彩・デザイン指針」の説明会や研修の開催、景観の専門家による景観検討の実施を通じて、職員の景観形成に対する意識を啓発するとともに、運用の徹底を図り、高質な公共空間を形成していく。

参考（写真・図表等）



令和7年度に開催した「ふじのくに色彩・デザイン指針」及び「運用編」研修の様子

緑化推進計画 事業個票

取組番号	8-1			
事業・取組名	豊かな暮らし空間創生			
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	住まいづくり課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造			
基本施策	(1) 花と緑のある安らぎの場の拡大			
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 緑化支援	<input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 広報	<input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> その他
概要	生活と自然が調和した住まいづくり・まちづくりの普及や地域コミュニティの形成、景観に配慮した豊かな住環境を整備することにより、快適な暮らし空間の実現を図る。			
目標	一定の基準に達した住宅地を「豊かな暮らし空間創生住宅地」として認定しているため、この認定区画数の増加を本取組の目標とする。			
評価方法	令和7年度までに600区画を目指し評価する。			
関連する管理指標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 豊かな暮らし空間創生住宅地の区画数（累計600区画（2025/R7））			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績				
<p>「豊かな暮らし空間」を実現した住宅地の普及・啓発に向け、県民や住宅関連事業者等への情報発信及び住宅地の宅地造成計画等に関するアドバイザーの派遣や研修会の開催等を実施し、認定区画数は平成30年度～令和7年度末で140区画増加し、累計で379区画となった。</p>				
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括				
<p>区画数は少ないが、良好な住宅地形成の一翼になったと考えている。</p>				

評価シート

取組番号	8-1		
事業・取組名	豊かな暮らし空間創生		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	住まいづくり課
令和7年度事業費	0千円		

令和7年度の実績

静岡文化芸術大学と県による検討会を5回開催し、「静岡らしい住まい方」について意見交換を実施し、「住まい方ビジョン」を作成した。

目標に対する評価

令和7年度における認定はなかったが、ここ数年、認定区画数は増加していることから、事業は着実に進んでいると言える。

今後の取組方針

「豊かな暮らし空間創生住宅地」の普及・啓発のため、県ホームページで認定を受けた住宅地の写真等の掲載、PRを行う。

参考（写真・図表等）



緑化推進計画 事業個票

取組番号	8-2		
事業・取組名	安全で美しいいえなみ整備		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	住まいづくり課
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造		
基本施策	(1) 花と緑のある安らぎの場の拡大		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	既成の住宅地における道路に面する部分において、植栽を基調とした緑のいえなみを推進し、安全で美しいいえなみへ誘導する。		
目標	美しいいえなみの形成のために市町が補助する場合に県が市町に対して助成しているため、この制度を創設した市町数の増加を本取組の目標とする。		
評価方法	令和7年度までに18市町を目指し評価する。		
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
令和元年度に制度を開始し、市町に対して補助制度創設を働きかけるとともに、事例集等を用いた意識醸成、情報発信を行い、令和7年度末までに6市町で制度の整備が完了した。			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
件数は少ないが、景観形成の一翼になったと考えている。			



評価シート

取組番号	8-2		
事業・取組名	安全で美しいいえなみ整備		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	住まいづくり課
令和7年度事業費	906千円		
令和7年度の実績			
助成実績：13件（富士宮市、富士市、藤枝市、袋井市）			
目標に対する評価			
令和7年度に新たに牧之原市で補助制度を創設した。ここ数年、助成件数は増加していることから、事業は着実に進んでいると言える。			
今後の取組方針			
令和7年度で事業終了。			
参考（写真・図表等）			
			
美しいいえなみ整備のイメージ			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	9		
事業・取組名	芝生の普及支援、管理支援		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造		
基本施策	(2) 芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大		
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	園庭・校庭や運動公園への芝生の導入を推進するとともに、既存の芝生の維持に対する支援を行う。		
目標	普及支援は園庭等芝生化モデル事業、管理支援は芝生管理活動支援事業を毎年度30団体を継続的に実施することにより支援する。		
評価方法	普及支援は既に管理指標はある。管理支援は芝生管理活動支援事業を実施した団体数で評価する。		
関連する管理指標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 芝生文化創造プロジェクトで芝生化した園庭・校庭数（96箇所（2025/R7）） 複数の園庭・校庭に芝生を導入している市町数（35市町（2025/R7）） 地域の緑化活動団体数（累計300団体（2025/R7））		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<p>○園庭等芝生化モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内のこども園・学校等の園庭や校庭、地域の公園・スポーツ広場などの芝生化を住民参加で実施するための資材や管理備品などの購入経費を支援した。 ・平成30年度から令和7年度までの累計支援箇所数は、49箇所である。 <p>○芝生管理活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内のボランティア団体が芝生の維持管理のための資材や管理備品などの購入経費を支援した。 ・平成30年度から令和7年度までの累計支援箇所数は、228箇所である。 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<p>○園庭等芝生化モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園・学校等の芝生化のニーズは高いので、同事業の普及啓発活動を積極的に行うとともに、予算を充実させ多くのニーズに対応できるようにした。 ・芝生の植栽は多くの人手が必要。企業や学生ボランティアなどを活用した。 <p>○芝生管理活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭・校庭や大規模な芝生の維持管理はボランティアの負担が大きいためロボット芝刈機などハイテク機器の導入を推奨した。 ・スポットの課題解決のための専門家による相談体制を整備した。 			

評価シート

取組番号	9				
事業・取組名	芝生の普及支援、管理支援				
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課		
令和7年度事業費	8,981千円				
令和7年度の実績					
<p>○園庭等芝生化モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園等の園庭6箇所2,347㎡の芝生化を支援した。 <p>○芝生管理活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の17箇所のボランティア団体が管理する芝生地に必要な芝生機材や資材の購入経費を支援した。 					
<p>○園庭等芝生化モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝生化した園庭・校庭数 実績R7:88箇所（達成率:92%） ・園庭に芝生を導入した市町 実績R7:19市町（達成率:54%） <p>○芝生管理活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の緑化活動団体数 実績R7:311団体（達成率:104%） 					
今後の取組方針					
<p>○園庭等芝生化モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度は、こども園等5箇所の芝生化を支援する。 ・園庭に芝生化を導入していない市町へのアプローチを行う。 <p>○芝生管理活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイテク機器であるロボット芝刈機や乗用芝刈機の導入を推奨する。 					
参考（写真・図表等）					
○園庭等芝生化モデル事業 (単位：箇所)					
年度	H30～R4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
支援実績	31	6	6	6	49
○芝生管理活動支援事業 (単位：箇所)					
年度	H30～R4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
支援実績	157	27	27	17	228
					

緑化推進計画 事業個票

取組番号	10		
事業・取組名	芝生アドバイザーの育成・活用		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク、芝草研究所	担当課	環境ふれあい課
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造		
基本施策	(2) 芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	芝生の知識を持った専門家を育成するとともに、芝生の専門家を各地域に派遣し、芝生の適切な維持管理を支援する。		
目標	芝生の適切な維持管理を支援する。		
評価方法	芝生に関する講座の修了者数を集計するとともに、受講生や専門家の派遣を受けた園、施設等にアンケートを行うことで事業の効果を評価する。		
関連する管理指標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 芝生文化創造プロジェクトで芝生化した園庭・校庭数（96箇所（2025/R7）） 複数の園庭・校庭に芝生を導入している市町数（35市町（2025/R7）） 地域の緑化活動団体数（累計300団体（2025/R7））		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・芝草研究所による技術支援及びグリーンバンクによる補助事業により、平成30年から令和7年度にかけて65箇所58,298㎡を芝生化した。 ・1日の講座で芝生管理の基礎知識を習得できる芝生教室及び3日間の講座で芝生管理の専門的な知識を習得できる芝草管理講座を開催し、芝生の知識を持った専門家を育成した。 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> ・県内の芝生地拡大促進のため、芝草研究所の研究・普及活動や公益財団法人静岡県グリーンバンクの芝生普及促進支援、芝生化のメリットや具体的な工程を示した動画の活用や芝生相談会・見学会の開催などによる、芝生に関心を持つ県民から芝生化を推進するボランティア人材の掘り起こしに取り組んだ。 ・芝生文化創造プロジェクトにより、県内の芝生地は拡大した。 ・人材育成にも積極的に取り組んだ結果、県内で芝生を維持管理できる人材の層が広がった。 			

評価シート

取組番号	10		
事業・取組名	芝生アドバイザーの育成・活用		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク、芝草研究所	担当課	環境ふれあい課
令和7年度事業費	1,119千円		

令和7年度の実績

- ・芝生教室開催（1日コース）（静岡県グリーンバンク）
参加者：東部25人、中部23人、西部24人 合計72人
講師：NPO法人グラウンドキーパーズ理事長 佐野 忍氏
研修内容：芝生化及び維持管理手法と管理機具に関する基礎知識の習得
- ・芝草管理講座（3日コース）（芝草研究所）
参加者：21人（修了者16人）
講師：静岡県芝草研究所 研究主幹 池村 嘉晃
研修内容：芝生化及び維持管理に必要な専門知識の習得
- ・芝生アドバイザー活用
芝生化実施施設の要請に基づき、芝生化指導及び維持管理に関する現場指導などの指導を行った。（98回）

目標に対する評価

- ・令和7年度に開催した芝生教室の参加者アンケートでは、参加者の94%が「良かった」と回答し、自由意見でも「芝生導入に向けた進め方、維持管理をイメージできた」などの声が寄せられ、好評を得た。
- ・芝生アドバイザー活用では、園庭の芝生維持管理に対して適切な助言と指導を行うことで、防塵効果、高温化対策、安全性と景観向上などが図られたなど、施設から喜びの声が寄せられた。

今後の取組方針

- ・引き続き、芝生教室及び芝生管理講座を開催するとともに、専門家による芝生化指導や維持管理に関する現場指導、管理機具のメンテナンス指導を行い、県内の芝生地拡大促進を行う。

参考（写真・図表等）



緑化推進計画 事業個票

取組番号	11		
事業・取組名	用途に応じた芝生の開発		
部局名/団体名	芝草研究所	担当課	環境ふれあい課
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造		
基本施策	(2) 芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
概要	身近で使いやすい芝生地の拡大のため、スポーツでの使用に耐えるものや日陰でも育成しやすいもの、長い期間常緑性を維持するものなど、用途に応じた芝種の選定を行い、用途に応じた管理手法を確立する。		
目標	芝種の選定や管理手法を確立することにより、身近で使いやすい芝生を普及する。		
評価方法	芝草研究所及び静岡県グリーンバンクによる芝生化実績件数により、事業の効果を評価する。		
関連する管理指標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 芝生文化創造プロジェクトで芝生化した園庭・校庭数（96箇所（2025/R7））		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・園庭・校庭に適した芝種（バミューダグラス）、施工方法（ポット苗方式）を選定した。 ・日陰に強い芝種として、セントオーガスティングラスを選定した。 ・幼稚園、学校、公園等の芝生化を支援した。（29箇所、53,553㎡（H25～R7）） ・静岡県グリーンバンクとの共催により、芝草管理講座を開催した。（修了者数267人（H25～R7）） ・「バミューダグラスによる園庭・校庭の芝生管理マニュアル」「セントオーガスティングラスによる芝生管理マニュアル」を作成し、グリーンバンク実施の芝生化支援事業や人材育成事業で活用した。 ・ロボット芝刈機の試験導入を行い、芝刈り作業の省力化について検証した。 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの研究成果である2種類の芝生管理マニュアル等を活用し、芝生の普及と、持続可能な芝生管理に不可欠な人材育成に取り組んだ結果、県内の芝生地が拡大するとともに、芝生を維持管理できる人材の層が広がった。 			

評価シート

取組番号	11		
事業・取組名	用途に応じた芝生の開発		
部局名/団体名	芝草研究所	担当課	環境ふれあい課
令和7年度事業費	5,794千円		

令和7年度の実績

- ・ 散水方法の違いによる水温変化に関する調査と、ブルミューダグラスに関する研究を実施した。
- ・ 散水のタイミングや水量の判断を的確に行うため、低価格で扱いやすい簡易気象観測機に係る研究を進め、その研究成果等を2025国際芝草学会（軽井沢）で発表した。

目標に対する評価

- ・ 芝生文化創造プロジェクトが開始された平成24年度から令和7年度までに、芝草研究所の技術支援により29箇所53,553㎡、グリーンバンクの補助事業により95箇所54,806㎡の芝生化を実施しており、確実に県内の芝生地が拡大した。

管理指標：芝生文化創造プロジェクトで芝生化した園庭・校庭数
 令和7年度実績 92箇所（達成率95.8%）

今後の取組方針

- ・ 今後は、公益財団法人静岡県グリーンバンクの事業を活用し、芝生の普及に一層力を注ぐとともに、芝草研究所では、近年の急速な気候変動や物価上昇、人手不足などの課題に対応するため、以下の研究方針に基づく芝生研究を継続して進める。

参考（写真・図表等）




芝草管理講座

緑化推進計画 事業個票

取組番号	12		
事業・取組名	工場緑化セミナー・緑化優良工場等表彰		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	企業立地推進課
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造		
基本施策	(2) 芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	工場緑化への意識向上と県全体で質の高い工場緑化の実現を図るため、工場緑化セミナーを開催する。		
目標	工場緑化への意識向上と県全体で質の高い工場緑化の実現を図るとともに、緑化優良工場等表彰へ推薦できる工場の確保につなげる。		
評価方法	工場緑化セミナー後、アンケートを実施し、参加者が本県の工場緑化に係る理念を理解できたかを評価する。 また、緑化優良工場としての受賞件数で評価を行う。		
関連する管理指標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 緑化優良工場としての受賞件数（累計80件（2025/R7））		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<p>・令和元年度までは、「ふじのくに産業見学会」の一部として「工場緑化セミナー」を市町と協働で開催し、緑化優良工場等表彰の受賞工場の中でも先進的な取組みを行っている工場を視察した。このことにより、参加市町及び企業の工場緑化への意識向上につながっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年度以降は開催を見送っている。</p> <p>・各市町及び企業に対し、工場立地法の制定経緯等を踏まえた運用を行うよう適宜助言することで、緑化優良工場等表彰(平成30年度～令和7年度)において、経済産業大臣賞4件、関東経済産業局長賞7件、日本緑化センター会長(奨励)賞14件の計25件の受賞につながっている。</p>			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<p>セミナー開催による啓発活動については、新型コロナウイルスの影響により一部製菓が生じたが、表彰件数については顕著な実績を上げた。</p> <p>セミナーによる一括啓発から、各市町が各事業所の実情に応じた個別支援を実施していただいた結果であり、今後も引き続き市町を通じた企業支援を行いたい。</p>			

評価シート

取組番号	12		
事業・取組名	工場緑化セミナー・緑化優良工場等表彰		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	企業立地推進課
令和7年度事業費	0 千円		
令和7年度の実績			
<p>・各市町及び企業に対し、工場立地法の制定経緯等を踏まえた運用を行うよう適宜助言することで、緑化優良工場等表彰において、経済産業大臣賞1件、日本緑化センター会長賞2件の計3件の受賞につながった。</p>			
目標に対する評価			
<p>・緑化優良工場としての受賞件数は、令和7年度末時点で累計101件となり、着実に受賞件数を増やしている。</p>			
今後の取組方針			
<p>・意欲的に工場緑化に取り組んでいる工場を緑化優良工場等表彰へ推薦予定である。企業、市町と連携し、受賞に向け対応していく。</p>			
参考（写真・図表等）			
<p>経済産業大臣賞：(株)アマダ富士宮事業所</p>			
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	13		
事業・取組名	県営都市公園の指定管理による芝生の良好な維持		
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	公園緑地課
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造		
基本施策	(2) 芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	<p>県営都市公園内の多目的競技場等運動施設における芝生の維持管理を指定管理者が定期的に行うことにより、常に芝生を良好な状態に保ち、運動施設の快適な利用を促進し芝生自体の長寿命化を図っている。</p>		
目標	<p>公園内の施設毎に気候の変化や芝の状態等を考慮した維持管理を継続して実施することで、施設利用にあたって快適な状態を維持する。また、適正な時期に芝の張替えを行い、常に良好な状態を保つ。</p>		
評価方法	<p>芝刈の回数など維持管理に関する年間計画を立て、達成状況により評価する。</p>		
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<p>公園内の施設毎に気候の変化や芝の状態等を考慮し、芝刈り、散水、施肥、抜取除草、薬剤散布などを実施することで、良好な状態で施設を貸出しすることができた。また、適正な時期に芝の張替えを行うことで、常に良好な状態を維持できた。</p>			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<p>公園内の施設毎に気候の変化や芝の状態等を考慮した維持管理（芝刈り、散水、施肥、抜取除草、薬剤散布など）を継続して実施することで、施設利用にあたって快適な状態を維持する。また、適正な時期に芝の張替えを行い、常に良好な状態を保つことで、利用者が快適に利用できる施設を目指す。</p>			

評価シート

取組番号	13		
事業・取組名	県営都市公園の指定管理による芝生の良好な維持		
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	公園緑地課
令和7年度事業費	— 千円		
令和7年度の実績			
<p>(草薙総合運動場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場 芝刈11回/年、散水13回/年、施肥3回/年、抜取除草3回/年、薬剤散布3回/年 ・球技場 芝刈35回/年、散水45回/年、施肥8回/年、抜取除草15回/年、薬剤散布5回/年 <p>(小笠山運動公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタジアム 芝刈110回/年、散水60回/年、施肥40回/年、抜取除草15回/年、薬剤散布5回/年 ・芝生グラウンド 芝刈105回/年、散水50回/年、施肥30回/年、抜取雑草15回/年、薬剤散布5回/年 など 			
目標に対する評価			
<p>いずれの公園においても、年間計画を目安に以下のとおり、実態に応じた維持管理を実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(草薙総合運動場) 光合成細菌、サッチ分解剤などの散布を行い、土壌改良を行った。 ・(小笠山総合運動公園) スタジアムでは、夏芝の地下茎量を増やす作業を行い、回復促進が図れるような準備ができた。その他のグラウンドでは、除草剤の散布回数を増やし、除草剤の内容を見直すことで、雑草量の減少、繁茂エリア拡大抑制を行うことができた。 			
今後の取組方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、年間計画を目安に気候や芝の状態に応じた維持管理を実施することで、良好な状態を保ち、利用者が快適に利用できる施設を目指す。 			
参考（写真・図表等）			
<u>草薙総合運動場</u>			
			
<u>小笠山運動公園</u>			
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	14		
事業・取組名	花と緑のおもてなし空間整備支援		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上		
基本施策	(3) 花と緑によるおもてなし空間の創造		
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	多くの人々が行き交う駅前や観光地などに、地域らしさが光る「花と緑のおもてなし空間」を創造するため、おもてなし空間を整備する市町等に対して支援を行う。		
目標	おもてなし空間整備で整備したおもてなし空間は、緑化グループ支援事業を活用し、地域のボランティア団体が継続的に管理ができるように支援する。		
評価方法	2020オリンピック・パラリンピックに向けての指標であり、令和2年度の実績（8箇所）で短期目標値（7箇所）を達成したため、廃止する。		
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度から令和3年度までに、5市町8箇所で新たな整備が実施され、特に小山町に整備されたオリンピック・自転車ロードコース沿いに整備された花壇では、新型コロナウイルス感染症の影響により沿道での観戦自粛が求められる中、参加選手を歓迎する気持ちを届けるため、多くの地域住民が花壇整備に参加した。令和4年度からは、地域の顔となるランドマーク花壇の整備を支援した。 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック・パラリンピックで築いた花によるおもてなしの機運（レガシーとしての花壇）を後世に引き継ぐため、新たに県内全市町に地域の特色を生かし、人の交流にもつながるランドマーク花壇を整備・管理する支援を行った。 			

評価シート

取組番号	14		
事業・取組名	花と緑のおもてなし空間整備支援		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課
令和7年度事業費	1,415千円		
令和7年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度は、地域の特色を生かし、人の交流にもつながるランドマーク花壇3箇所の整備にかかる経費を補助した。 ・令和7年度に整備した花壇は、静岡市の大浜海岸近くで海をモチーフにした花壇、藤枝駅北口の藤枝駅開業功労者の銅像を活かした花壇、浜松市の佐鳴湖に面した生物多様性に配慮した花壇を整備しました。 			
目標に対する評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに整備したおもてなし空間の花壇等は地域に受け継がれ、地元の緑化ボランティアの手により維持管理が続けられている。 ・令和7年度に整備したランドマーク花壇は、観光客をおもてなし地域の賑わいづくりを担う存在となっている。 			
今後の取組方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・駿東郡清水町、榛原郡吉田町などで新たにランドマーク花壇を整備する団体を支援する。 			
参考（写真・図表等）			
			
JR藤枝駅北口		静岡市大浜海岸	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	15-1		
事業・取組名	公共施設の緑化（県庁本庁舎）		
部局名/団体名	財務部	担当課	財産管理課
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上		
基本施策	（3）花と緑によるおもてなし空間の創造		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備	<input type="checkbox"/> 人材育成	<input type="checkbox"/> 普及啓発
	<input type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 広報
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立の農業高等学校や農林環境専門職大学の生徒が授業にて栽培した花プランターを県庁本館（正面側）の窓辺に設置し、「親しみやすい県庁」とする。 ・ 本庁舎内に花等を設置し、来庁者への「おもてなし」を実施する。 		
目標	農業高校・農林環境専門職大学と連携し、季節感のある庁舎の演出を図る。		
評価方法	年度末に一括して評価する		
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓辺の花（年5回）※本館2～4階の執務室窓辺の花 ・ 福祉の花（年8回）※本館前階段とその脇のプランター ・ 本館（2階総合案内横）寄せ植え（年5回程度） 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して花を設置することで県民の環境美化・緑化運動の啓発、県庁へ来庁される方々の「おもてなし」、県庁舎の環境美化に寄与することができた。 			

評価シート

取組番号	15-1		
事業・取組名	公共施設の緑化（県庁本庁舎）		
部局名 / 団体名	財務部	担当課	財産管理課
令和7年度事業費	2,567千円		

令和7年度の実績

- ・ 県立農業高等学校や農林環境専門職大学の生徒が授業にて栽培した花プランターを県庁本館（正面側）の窓辺に設置した。
- ・ 福祉施設にて栽培された花プランターを本館正面玄関前に設置した。
- ・ 静岡県立富岳館高等学校他から納品のあったフラワーアレンジメントを本館2階ロビーに掲示した。

目標に対する評価

- ・ 花制作の依頼先及び展示場所、展示時期について令和6年度と同規模で実施しており、令和6年度と同程度と評価する。

今後の取組方針

- ・ 福祉施設にて栽培された花プランターを本館正面玄関前に設置する事業を継続して実施する。

参考（写真・図表等）



緑化推進計画 事業個票

取組番号	15-2		
事業・取組名	公共施設の緑化（県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園）		
部局名/団体名	スポーツ・文化観光部	担当課	文化政策課
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上		
基本施策	（3）花と緑によるおもてなし空間の創造		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園における草木、緑地等の維持管理		
目標	草木等の維持管理を行い、良好な緑化環境を維持する。		
評価方法	利用者アンケートの満足度により評価する。		
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
計画期間（平成30年度～令和7年度）中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立美術館等の施設において、県の文化施設として訪れる方々に快適な空間を提供するよう、草木等の維持管理を行ってきた。 			
計画期間（平成30年度～令和7年度）中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 草木等の維持管理を計画的に行うことにより利用者からも一定程度の満足度を得ることができ、良好な緑化環境を維持することができた。 			

評価シート

取組番号	15-2		
事業・取組名	公共施設の緑化（県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園）		
部局名/団体名	スポーツ・文化観光部	担当課	文化政策課
令和7年度事業費	41,140千円		

令和7年度の実績

- ・施設を訪れる方々に快適な空間を提供できるよう、各施設において樹木の剪定、芝生の管理、草刈り等を計画的に実施した。

目標に対する評価

- ・植栽管理等を行った結果、利用者から「緑に囲まれて自然豊かで良い」等の声が寄せられ、良好な緑化環境を維持することができた。

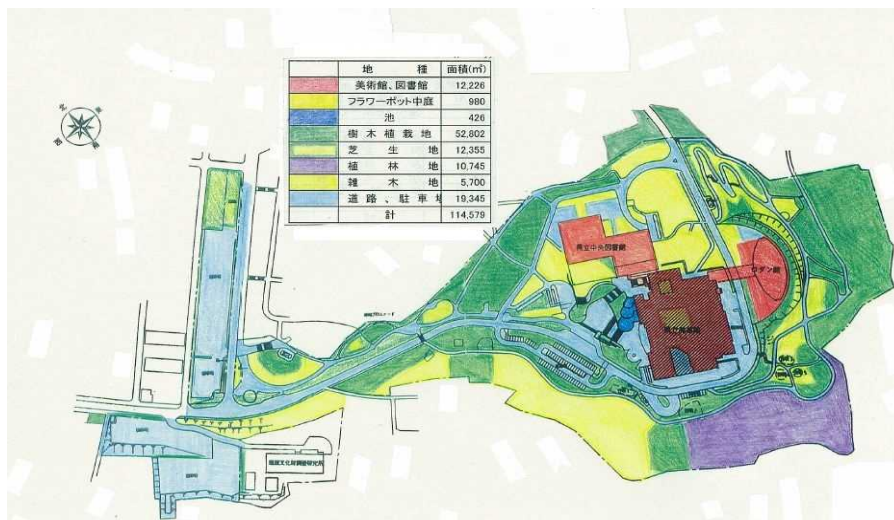
今後の取組方針

- ・今後も継続して、草木等の維持管理を行っていく。

参考（写真・図表等）

令和7年度県立美術館年間作業表

樹木植栽地 及び中庭	樹木手入れ	4月上旬～3月下旬
	基本剪定	1月上旬～2月下旬
芝生	除草	4月中旬～11月下旬
	刈込み	5月中旬～6月上旬
雑木地及び その他	施肥	8月下旬～9月中旬（1回）
		1月中旬～2月上旬（2回）
	刈込み	6月上旬～6月下旬（1回） 8月上旬～8月下旬（1回） 12月上旬～12月下旬（1回）
雑木地及び その他	下草刈り	5月上旬～10月下旬
	除草	5月上旬～11月下旬



緑化推進計画 事業個票

取組番号	15-3			
事業・取組名	公共施設の緑化（日本平夢テラス）			
部局名/団体名	スポーツ・文化観光部	担当課	観光政策課	
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上			
基本施策	（3）花と緑によるおもてなし空間の創造			
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 広報	<input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> その他
概要	日本平夢テラス（前庭）の整備			
目標	草木等の維持管理を行い、緑化を推進することにより、施設の魅力を高める。			
評価方法	来館者の御意見として庭の緑化に関する意見により評価する。（1階インフォメーションに常設）			
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績				
<p>日本平山頂シンボル施設（日本平夢テラス）の前庭等において、国内外からの観光客を美しい景観でお迎えし、快適に散策してもらえるよう、樹木や草花等の維持管理を行った。</p>				
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括				
<p>平成30年度の開館以降、継続して前庭等の樹木や草花等の維持管理を行い、来館者にとって魅力のある景観を形成してきた。その結果、コロナ禍で落ち込んだ来館者数も回復傾向にあり、令和5年度には、来館者目標の50万人を達成した。</p>				

評価シート

取組番号	15-3		
事業・取組名	公共施設の緑化（日本平夢テラス）		
部局名/団体名	スポーツ・文化観光部	担当課	観光政策課
令和7年度事業費	4,967千円		

令和7年度の実績

日本平山頂シンボル施設（日本平夢テラス）の前庭等について、国内外からの観光客を美しい景観でお迎えし、快適に散策してもらえるよう、樹木や草花等の維持管理を行った。

目標に対する評価

来館した学校団体を対象に実施したアンケートでは、施設について「大変良かった」又は「良かった」と回答した団体が94.4%となり、来館者にとって魅力のある景観を形成できたと考えている。

今後の取組方針

引き続き、前庭等の維持管理を行うことで、良好な景観の形成と保全に取り組み、施設の魅力を高めていく。

参考（写真・図表等）



緑化推進計画 事業個票

取組番号	16		
事業・取組名	県立森林公園アカマツ林再生		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上		
基本施策	(3) 花と緑によるおもてなし空間の創造		
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 広報
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> その他		
概要	<p>県立森林公園のアカマツ林は、県内でも希少な、まとまった面積の植物群落であり、公園のシンボルともなっている。 松食い虫被害で減少してしまったが、長年継続してきた防除対策により、近年被害が収束しつつあるため、施設の再整備を契機に、保全から再生への転機となる「保全・再生指針」を策定し、アカマツ林の再生活動を始めている。</p>		
目標	<p>県、指定管理者、民間ボランティア、企業が連携し、県立森林公園のシンボルであるアカマツ林の再生、保全を図る。</p>		
評価方法	<p>ボランティアによる保全活動の実施状況（回数、参加人数）により評価する。</p>		
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立森林公園で活動する森づくりボランティアによる再生活動を毎年2回程度実施した。 ・ しずおか未来の森サポーター制度により企業の協力を得て、苗木の植栽等を継続した。 ・ 防除対策として、空中散布や被害木の伐倒駆除を行った。 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、指定管理者、民間ボランティア、企業が連携し、県立森林公園のシンボルであるアカマツ林の再生、保全を図ることができた。 			

評価シート

取組番号	16		
事業・取組名	県立森林公園アカマツ林再生		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
令和7年度事業費	6,148千円		

令和7年度の実績

- ・利用者が互いに安全・快適に利用できる施設を目指し、森づくりボランティアや企業等と連携したアカマツ林の保全・再生活動を継続した。

目標に対する評価

- ・県、指定管理者、県民ボランティア、企業が連携し、県立森林公園のシンボルであるアカマツ林の再生、保全が継続して行われており、評価できる。

今後の取組方針

- ・利用者が互いに安全・快適に利用できる施設を目指し、森づくりボランティアや企業等と連携したアカマツ林の保全・再生活動を継続する。

参考（写真・図表等）





県立森林公園サポーター会員によるアカマツ林再生活動

緑化推進計画 事業個票

取組番号	18		
事業・取組名	さくら愛護思想普及の推進		
部局名/団体名	静岡県さくらの会	担当課	環境ふれあい課
基本方針	2 花と緑のよる地域の魅力向上		
基本施策	(4) 花と緑があるまちの魅力の向上と発信		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	静岡県さくらの会ホームページにさくらの情報を掲載するとともに、さくら写真コンクールを開催し、国花である桜を県民に広く普及させる。		
目標	静岡県さくらの会のホームページに毎年度450,000回アクセスしてもらうことで、桜を県民に広く普及させる。		
評価方法	毎年のホームページアクセス数を継続的に記録することにより、その年の傾向と、桜への関心度の変化を評価する。		
関連する管理指標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 静岡県さくらの会ホームページアクセス数（毎年度450,000回）		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・さくらの開花情報提供は平成5年から実施しており、テレビ局や新聞社からの照会も多く、県内のさくらの開花情報が一度にわかるホームページとして定着している。 ・さくら写真コンクールは入賞写真が令和7年度静岡県環境白書の表紙に使用されるなど、県内のさくら写真を集めたデータベースとしての役割も担っている。 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> ・桜を愛護する精神を広く県民に普及させ、その保護・育成を図り、観光と美化の推進を図ることができた。 			

評価シート

取組番号	18		
事業・取組名	さくら愛護思想普及の推進		
部局名/団体名	静岡県さくらの会	担当課	環境ふれあい課
令和7年度事業費	538千円		
令和7年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民がさくらに親しむ機会を増やすため、県さくらの会ホームページで県内のさくらの開花情報を掲載した。 (早咲きさくら：26箇所、ソメイヨシノ等：75箇所) ・ 県内のさくらの魅力を広くアピールするため、「静岡県さくら写真コンクール」を開催し、令和7年度は昨年度より92点多い595点の応募があった。 			
目標に対する評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度のさくら写真コンクールの応募点数は昨年度より増加し、原因としては、桜の花の開花時期が令和6年度よりも少し遅れ、花の咲いている期間も途中気温の低下等で場所によっては長持ちしていたことなどが考えられる。 ・ 静岡県さくらの会のホームページのアクセス数は令和7年度が静岡県さくらの会設立60周年にあたり、記念植樹等の様子をさくらの会のInstagramにより発信を行ったことにより、アクセス数が大幅に増加し、目標を達成した。 <p>管理指標：静岡県さくらの会ホームページアクセス数 令和7年度実績 903,843回（達成率201%）</p>			
今後の取組方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続きさくらの開花情報の掲載やさくら写真コンクールの開催等により、国花である桜を県民に広く普及させる。 			
参考（写真・図表等）			
			
令和7年度静岡県さくら写真コンクール		令和7年度静岡県さくら写真コンクール	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	19		
事業・取組名	さくらの保護育成		
部局名/団体名	静岡県さくらの会	担当課	環境ふれあい課
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上		
基本施策	(4) 花と緑があるまちの魅力の向上と発信		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	さくら功労者の表彰やさくら相談員派遣事業などを実施することで県内の桜の保護育成について地域住民の自主的な活動を奨励する。		
目標	さくら功労者の表彰やさくら相談員派遣事業を実施することで、さくらの保護育成に関する意識の向上を図る。		
評価方法	さくら相談員派遣を受けた個人、団体からの声を収集し、意識の変化、満足度を評価する。		
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ さくら功労者は、市町からの推薦により表彰を行っており、これまでに1団体、3個人を表彰した。 ・ さくら相談員派遣事業は(1)新たなさくら名所整備や再整備の支援、(2)既存のさくらの保護育成の指導の2種類があり、会員の求めに応じて専門家を派遣して技術的な助言を実施した。 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> ・ さくら功労者の表彰やさくら相談員派遣事業などを実施することで県内の桜の保護育成について地域住民の自主的な活動を奨励できた。 			

評価シート

取組番号	19		
事業・取組名	さくらの保護育成		
部局名/団体名	静岡県さくらの会	担当課	環境ふれあい課
令和7年度事業費	159千円		
令和7年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・新たなさくら名所整備や再整備の支援として1箇所（磐田市）、既存のさくらの保護育成指導として4箇所（牧之原市、藤枝市、浜松市、西伊豆町）に専門家を派遣し、技術的な助言を実施した。 			
目標に対する評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・さくら名所の再整備について、河川工事で桜を伐採した場所にあらたに桜を植える際の技術的な助言依頼があり、さくら相談員が現地で植樹、育成管理について直接地域住民に指導することで、地域で桜を守る意識の向上につながった。 ・各地で桜の老朽化が進んでおり、放置すれば倒木の恐れがあるが、伐採には抵抗があるとの地域の声がある。これに対し、桜の状況を的確に伝え、伐採すべきか、樹勢を回復させる見込みがあるかを説明するなど、さくら相談員の派遣がさくらの維持管理の助けとなっている。 			
今後の取組方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、さくら功労者の表彰やさくら相談員派遣事業等を実施することで、さくらの保護育成に関する意識の向上を図る。 			
参考（写真・図表等）			
			
さくら相談員派遣事業			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	20		
事業・取組名	ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール、花育活動の推進		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農産振興課
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上		
基本施策	(4) 花と緑があるまちの魅力の向上と発信		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	地域や学校等での花や緑の植栽や装飾に関するコンクールを開催するとともに地域、企業等が実施する花育講座に講師を派遣し、花の都づくりを推進する。		
目標	県内における花の都づくりを広く展開するため、地域や企業における花の利活用や、学校等における花育活動を推進する。		
評価方法	花緑出張サービスで実施した花育講座の受講者数2,400人/年		
関連する管理指標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 花育活動受講者数 (2,400人/年)		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域、学校、企業、個人等を対象とした花緑コンクールを開催し、優秀な取組について表彰するとともに、広報を行うことにより花緑に関する取組の普及を図った(令和5年度の開催を持って終了)。 ・「花と暮らす」をテーマに、インスタグラムフォトコンテストを開催し、入賞写真を広報することで、花のある暮らしについて魅力を発信した。 ・「花の都しずおかアドバイザー」を、地域や学校等が実施する園芸教室等に派遣する「花緑出張サービス」を実施し、地域の緑化や花育を推進した。 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムフォトコンテストを実施し、花のある暮らしについて魅力を広報することで、地域や企業における花の利活用を推進した。 ・花緑出張サービスを実施し、花育活動の推進した。 			

評価シート

取組番号	20		
事業・取組名	ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール、花育活動の推進		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農産振興課
令和7年度事業費	3,152千円		

令和7年度の実績

- ・「花と暮らす」をテーマに、インスタグラムフォトコンテストを開催した。
令和7年度実績 応募件数 219件
- ・「花の都しずおかアドバイザー」を、地域や学校等が実施する園芸教室等に派遣する「花緑出張サービス」を実施した。令和7年度実績 花育講座受講者数 1,503人

目標に対する評価

- ・「花緑出張サービス」による花育講座の受講者数は目標人数の約63%であり、目標を達成できなかった。

今後の取組方針

- ・インスタグラムフォトコンテストを実施し、花のある暮らしについて魅力を広報することで、地域や企業における花の利活用を推進する。
- ・花緑出張サービスを継続・強化し、花育活動の推進する。

参考（写真・図表等）



花緑出張サービスによる花育講座の様子

緑化推進計画 事業個票

取組番号	21		
事業・取組名	しずおかアダプト・ロード・プログラム		
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	道路保全課
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動		
基本施策	(5) 社会総がかりの緑化活動への参加促進		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備	<input type="checkbox"/> 人材育成	<input type="checkbox"/> 普及啓発
	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 広報
			<input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働
			<input type="checkbox"/> その他
概要	道路がある一定区間において、住民団体、学校、企業などの皆さんが、道路清掃や美化活動を行い、行政がこれを支援する。住民活動等と行政が互いに役割分担を定め、両者の協働のもと、美化を進める。		
目標	快適な道路空間を創出するために、地域住民や企業等の道路清掃や美化活動を支援する。		
評価方法	活動道路延長、活動人数により評価する。		
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・活動に必要な各種肥料・種子・苗・培養土等の消耗品の支給を行い、道路美化活動を実施する住民や利用者等の活動を支援している。 ・地域や道路、環境保護に関する意識啓発を図るため、県庁、各土木事務所及び市町のHPや広報誌を用いて広く周知している。 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体は年々増加しており、令和7年3月末時点では団体数が214団体となっていることから、取組は拡大していると言える。 ・一方で、参加住民の高齢化が進み、活動が困難となり脱退する事例が出ていることから、県庁HP等でアダプト・ロード・プログラムの取り組みを積極的に広報して若い世代へ制度の周知を図るとともに、各土木事務所において既存団体との意見交換や、新規団体との加入に向けた協議を進め、取組の更なる拡大を図る。 			

評価シート

取組番号	21		
事業・取組名	しずおかアダプト・ロード・プログラム		
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	道路保全課
令和7年度事業費	810千円		
令和7年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・快適な道路空間を創出するために、地域住民や企業等の道路清掃や道路美化活動を支援した。 ・アダプト団体として、令和8年3月末現在で、214団体、活動延長181kmで同意書を締結している。 			
目標に対する評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や企業等の道路清掃や美化活動を支援したことにより、快適な道路空間の確保が図れている。 			
今後の取組方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、快適な道路空間を創出するために、地域住民や企業等の道路清掃や美化活動を支援する。 			
参考（写真・図表等）			
			
美化活動の様子			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	22		
事業・取組名	リバーフレンドシップ制度		
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	河川企画課
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動		
基本施策	(5) 社会総がかりの緑化活動への参加促進		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	<p>県が管理する河川の一定区間において、住民や利用者等がリバーフレンドとなり、清掃や除草等の河川美化活動を行うことにより、河川を地域の共有財産として保全する意識を啓発する。</p>		
目標	<p>リバーフレンド活動を通じて、地域で「みんなの川」を「みんなで守っていく」意識を高め、併せて、身近な河川の治水や環境保全に関する意識啓発を図る。</p>		
評価方法	<p>リバーフレンドシップの活用により良好な河川環境の保全活動の実施状況（団体数等）により評価する。</p>		
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<p>○平成30年度から令和7年度末にかけて、188団体とリバーフレンドシップ制度に関する同意書を締結した。</p> <p>○身近な河川の治水や環境保全に関する意識啓発を図るため、令和元年度にパンフレットを作成した。</p> <p>○近年のリバーフレンド団体の高齢化による活動力の低下等の課題に対して、河川美化活動における安全の確保に加え、作業効率の向上による負担軽減を図ることを目的に、令和6年度からリモコン式草刈機の貸出しの本格運用を開始した。</p>			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<p>○リバーフレンド団体が増加し、リバーフレンド活動を行う住民が増えたことにより、身近な河川の治水や環境保全に関する意識啓発を図った。</p> <p>○令和6年度から本格運用を開始したリモコン式草刈機の貸出しは、利用者から高評価を得ており、作業効率の向上や負担軽減が図られた。</p>			

評価シート

取組番号	22		
事業・取組名	リバーフレンドシップ制度		
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	河川企画課
令和7年度事業費	35,000千円		
令和7年度の実績			
<p>○令和7年度は新たに27団体とリバーフレンドシップ制度に関する同意書を締結した。 ○リバーフレンド活動に必要な物品の貸与やリモコン式草刈機の貸出などの支援を継続して行った。</p>			
目標に対する評価			
<p>○リバーフレンドシップ制度の同意書を締結し、活動している団体は年々増加している。 ○活動しているリバーフレンド団体のなかには、高齢化による活動力の低下などで、締結解除を望む団体も増えている。このため、持続可能な活動のための制度改善に努めていく必要がある。</p>			
今後の取組方針			
<p>○リバーフレンド活動は、身近な河川の治水や環境保全に関する意識啓発を図れるため、活動を主体的・継続的に行える制度改善の検討を実施する。</p> <p>○リモコン式草刈機の貸出し状況を整理し、団体の意見を聞いたうえで、効果的なリモコン式草刈機の運用を検討していく。</p>			
参考（写真・図表等）			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
<p>活動状況 【(二) 滝ノ谷川 滝沢町内会 藤枝市】</p>			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	23		
事業・取組名	ふじのくに美農里プロジェクト		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農地保全課
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動		
基本施策	(5) 社会総がかりの緑化活動への参加促進		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	<p>農業・農村の有する、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの様々な働き（多面的機能）を維持・発揮させるため、「ふじのくに美農里プロジェクト」により、農業者や地域住民による地域資源（農地・水路・農道等）を保全する共同活動への支援を行う。</p>		
目標	<p>「ふじのくに美農里プロジェクト」を活用した農地等の地域資源を保全する活動を広め、多様な主体の参画等を得ながら活動の持続性を確保し、「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」全体の参画者数として、毎年度2,400人増を目指す。</p>		
評価方法	<p>ふじのくに美農里プロジェクトを含め、管理指標である「ふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数」により評価する。</p>		
関連する管理指標の有無	<p><input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無 ふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数(87,600人(2025/R7))</p>		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<p>・活動組織や取組農地の拡大が図られ、参画者数は増加した。 (活動組織数：240、交付対象面積：15,224ha、邑づくり参画者：90,025人) ・農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的な保全活動のほか、景観形成（農道や耕作放棄地等への植栽）や、生態系の保全（生き物調査、外来種駆除、ビオトープづくり等）など、農村環境の保全のための活動が行われた。</p>			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<p>ふじのくに美農里プロジェクトを活用した地域資源を保全する共同活動の取組拡大により、農村の多面的機能が維持・発揮された。また、地域の農業者だけでなく、企業・大学などとの連携も進み、参加者の増加が図られた。</p>			

評価シート

取組番号	23		
事業・取組名	ふじのくに美農里プロジェクト		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農地保全課
令和7年度事業費	865,686千円		

令和7年度の実績

農地・水路・農道等の地域資源の保全活動に取り組む、農業者及び地域住民等で構成される活動組織に対し、国・県・市町が多面的機能支払交付金を交付した。(R7活動組織数：240、交付対象面積：15,224ha)

活動組織は、農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的な保全活動のほか、景観形成(農道や耕作放棄地等への植栽)や、生態系の保全(生き物調査、外来種駆除、ビオトープづくり等)など、農村環境の保全のための活動に取り組んでいる。H30に創設された「関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰」において、袋井市の活動組織が優秀賞を受賞した。

目標に対する評価

活動組織や取組農地の拡大が図られ、年間を通じた活動参加者は増加した。(R7:90,025人)

今後の取組方針

取組拡大のため、制度の普及・啓発を図るとともに、表彰制度等を活用した優良な取組事例の紹介など広報活動を行う。活動の参加者を増加させるため、地域内外の多様な主体との連携を支援する。

参考(写真・図表等)

いまい保全の会
(静岡県 袋井市)

組織の概要
静岡県袋井市の北西部に位置し、水田農業を主体とするほか、日本でも有数のクラウンメロンの産地です。
農家や地域住民で農地や農業用施設を守り、地域資源を後世に残したいという強い思いから、平成19年に「いまい保全の会」を立ち上げ、農業体験活動など、地域をあげて取り組んでいます。
取組面積 186.2ha (田161.9ha、畑 24.3ha)

地域資源保全活動
○8つの集落で構成されており、各集落が適時適切に農道や水路の草刈り、清掃を行っています。
○活動の参加人数も確保されており、地域内において適切に保全管理されています。

農村環境保全活動
○「田んぼの楽校」は、小学5年生を対象に年間を通じて、米作りを体験してもらおう取組です。構成団体の1つである袋田用水東部土地改良区もこの活動に参加し、田んぼが持つ多面的機能に関する紙芝居「水の番犬名犬タロー」を通じて、農業の大切さを伝えています。
○「畑の楽校」は、小学2年生を対象に野菜作り、小学3年生を対象に大豆作りを体験してもらおう取組です。最後に収穫祭として、豆腐作りを行っています。

多面的機能の増進を図る活動
○農村伝統文化の継承として、毎年12月、稲作体験の収穫後の稲藁を使って「しめ縄づくり体験教室」を開催し、農村地域に伝わる伝統文化を次世代を担う子供たちに伝えていきます。

しめ縄づくり体験教室
小学校からの感謝状

施設の維持管理活動
○活動の対象施設に位置付けた水路について、地域の営農に支障が出ることのないよう、計画的に改修を行っています。
○一部直営施工を実施することにより、自分たちの使う施設に対して、理解が深まっています。

直営による測量
水路の長寿命化

取組の成果
○地域住民の連帯意識が強まったことで、行政主体ではなく、自ら対応するなど、地域の資源を自分たちで守っていくという意識や自主性が芽生えました。
○地域内で話し合いの場があることや活動を通じた連携により、隣の方に一緒に耕作してもらうなど、活動組織による活動が農地集積にも貢献しています。
○袋田用水東部土地改良区が事務処理や活動へ参加することにより、土地改良区と農家・地域住民との距離が近くなり、土地改良区を一層理解してもらえることにもつながっています。

緑化推進計画 事業個票

取組番号	24		
事業・取組名	一社一村しずおか運動		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農地保全課
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動		
基本施策	(5) 社会総がかりの緑化活動への参加促進		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	<p>農山村と企業が対等な関係のパートナーシップを組み、それぞれの資源、人材、ネットワーク等を生かした双方にメリットのある協働活動の実現を目指し、農山村と企業の要望を県がコーディネートする取組。平成30年1月末時点で34の農山村地域と39の企業団体が認定されている。</p>		
目標	<p>県やしずおか農山村サポーター「むらサポ」のウェブサイトを通じて先駆的な優良事例を紹介し、「企業」「農村」双方の意識の醸成と取組の拡大を図り、「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」全体の参画者数として、毎年度2,400人増を目指す。</p>		
評価方法	<p>一社一村しずおか運動を含め、管理指標である「ふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数」により評価する。</p>		
関連する管理指標の有無	<p><input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無 ふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数(87,600人(2025/R7))</p>		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<p>・令和7年度までに36の農山村地域と44の企業団体との取組を認定。 ・協働により、草刈や農作物の植付け・収穫といった農地保全活動、桜の植樹や芝桜の植栽等による地域の景観向上等の取組、農山村の資源を活用した商品の開発や販売、地域情報の発信等が行われた。</p>			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<p>一社一村しずおか運動による農山村地域と企業・大学等の連携は年々増加しており、また「むらマッチ」による新たなプラットフォームの構築により、農村と企業のマッチングの取組が一層強化された。これら取組により農山村に関わる関係人口が増加し、一社一村しずおか運動を含めたふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数は令和7年度に90,025人となり目標を達成した。</p>			

評価シート

取組番号	24		
事業・取組名	一社一村しずおか運動		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農地保全課
令和7年度事業費	11千円		
令和7年度の実績			
<p>新規に3つの協定が締結され、一社一村しずおか運動の取組が広まった。 令和7年度は参画者数が、増加した。 (R7:1,426人)</p>			
目標に対する評価			
<p>新たに農山村と企業との取組を認定を行った。また、本取組を含めた農山村共同活動参画者数は増加した。 (R7:ふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数 90,025人)</p>			
今後の取組方針			
<p>農村と企業とのマッチング支援プラットフォームサイト「むらマッチ」を活用し、農村と企業とのマッチング及び新たな取組を支援する。</p>			
参考（写真・図表等）			
			
共同活動（静岡大学×はちくぼ会）		共同活動（早稲田大学×はちくぼ会）	
			
		一社一村しずおか運動 認定式	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	25		
事業・取組名	森づくり県民大作戦		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動		
基本施策	(5) 社会総がかりの緑化活動への参加促進		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	環境ふれあい課のホームページに、各森づくり団体が開催する森づくりイベントを掲載するとともに、各農林事務所主催の森づくりイベントを開催し、県民総参加による森づくりを推進する。		
目標	森づくり県民大作戦へ毎年度28,000人参加してもらうことで、県民が森林を守り、育て、活かす行動を実践する機会を提供する。		
評価方法	森づくりボランティア団体、企業、市町、県などの行事参加者の実績を集計し、評価する。		
関連する管理指標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 森づくり県民大作戦参加者数(毎年度28,000人)		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民が森林とふれあい、森林の大切さや森づくりへの理解を深めるとともに、県民総参加による意識の醸成を図るため、植栽や下草刈りなどの森づくり活動を県と県民、森づくり団体が協働で進める「森づくり県民大作戦」を実施した。 			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 森づくり県民大作戦の参加者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度以降大きく減少した。しかし、PRの強化により参加者数は回復傾向に転じ、多くの県民に森林を守り、育て、活かす行動を実践する機会を提供することができた。 			

評価シート

取組番号	25		
事業・取組名	森づくり県民大作戦		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
令和7年度事業費	4,434千円		

令和7年度の実績

「森づくり県民大作戦参加者数」は、森づくり団体等に対し、直接参加を働きかけたことや、SNS活用による情報発信の強化等に取り組んだが、森づくり団体のメンバーの固定化や高齢化が進んでいることもあり、参加者数は横ばいとなった。

目標に対する評価

「森づくり県民大作戦参加者数」は横ばいで推移したが、森づくり団体のメンバーの固定化や高齢化が進んでいることから、目標達成に向け、新たな担い手の確保等、持続的活動に向けた支援が必要である。

管理指標：森づくり県民大作戦参加者数
令和7年度実績 22,540人（達成率80.5%）

今後の取組方針

- ・引き続き、県民の森づくりへの理解と参加を促進するため、地域住民や森づくり団体との連携と協働による森づくり県民大作戦を実施する。

参考（写真・図表等）



森づくり県民大作戦

緑化推進計画 事業個票

取組番号	26		
事業・取組名	しずおか未来の森サポーター		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動		
基本施策	(5) 社会総がかりの緑化活動への参加促進		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備	<input type="checkbox"/> 人材育成	<input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発
	<input type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 緑化支援	<input checked="" type="checkbox"/> 広報
			<input type="checkbox"/> 連携・協働
			<input type="checkbox"/> その他
概要	しずおか未来の森サポーター企業及びふじのくに森の町内会への参加企業数を増やすことが、森林整備及び緑化推進に寄与することから、広報や普及啓発により参加を促進する。		
目標	しずおか未来の森サポーターに累計144社の企業に登録してもらうことで、社会貢献活動やSDGs達成の取組を森づくりにつなげる。		
評価方法	新たにサポーター協定を締結した企業等の実績を集計し、評価する。		
関連する管理指標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 しずおか未来の森サポーター企業数(144社(2025/R7))		
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績			
・「しずおか未来の森サポーター企業数」は、企業の社会貢献活動やSDGsへの関心が高まる中、イベントやセミナー会場等での積極的なPRを継続した結果、令和7年度末までに参画企業の累計が162社となった。			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括			
・森づくりを希望する企業に、協定を締結して森林整備に直接貢献する制度や、「紙」の購入を通して手軽に森づくりに参加できる「ふじのくに森の町内会・間伐に寄与する紙」制度などを紹介し、しずおか未来の森サポーター制度への参加を促進することで、企業のCSR活動やCSV経営を森づくりにつなげることができた。			

評価シート

取組番号	26		
事業・取組名	しずおか未来の森サポーター		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
令和7年度事業費	4,434千円		
令和7年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> 「しずおか未来の森サポーター企業数」は県有地を中心に活動場所の提案ができることや、NPO等活動支援団体がいることを紹介し、サポート体制が整っていることをPRすることで、新たに5社の参加が得られた。 			
目標に対する評価			
<ul style="list-style-type: none"> 毎年度着実に新規参加企業を増やし、令和7年度末にしずおか未来の森サポーター参加企業数は、累計162社となった。 <p>管理指標：しずおか未来の森サポーター企業数 令和7年度実績 162社（達成率111.8%）</p>			
今後の取組方針			
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、企業等の森づくり活動への参画を促進するため、市町や森づくり団体等と連携し、活動フィールドの確保や活動の支援体制の構築に取り組む。 			
参考（写真・図表等）			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">しずおか未来の森サポーター企業による活動</p>			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	27			
事業・取組名	森の防潮堤づくり			
部局名/団体名	経済産業部	担当課	森林保全課	
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動			
基本施策	(5) 社会総がかりの緑化活動への参加促進			
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 広報	<input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> その他
概要	遠州灘海岸で進めている「森の防潮堤づくり」を県民参加で推進する。			
目標	地域住民や地元企業との協働による植樹祭等を実施することで、防潮堤への理解促進と植栽木の管理等への協力意識の醸成を図る。			
評価方法	植樹祭等への参加者からの声を収集し、防潮堤への理解度や協力意識の変化を評価する。			
関連する管理指標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績				
森の防潮堤施工地見学会 9回(参加総人数 365人) 森の防潮堤植樹祭 22回(参加総人数 4,526人) 森の防潮堤下刈 6回(参加総人数 626人)				
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括				
・市、地元住民及びNPO法人等と協働して、海岸防災林内に設置した森の防潮堤の植栽、植栽木の維持・管理等を推進したことにより、海岸防災林は地域で育てていくものであること、森の防潮堤は地域にとって重要な施設であることへの理解が深まった。				

評価シート

取組番号	27		
事業・取組名	森の防潮堤づくり		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	森林保全課
令和7年度事業費	1,164,000 千円		

令和7年度の実績

- ・磐田市、掛川市の海岸防災林において、植樹祭や保育等の活動が3回実施され、地域住民やNPO法人等から約550人が参加した。

目標に対する評価

- ・植樹祭等を通じて、地域住民等に海岸防災林が持つ機能とその重要性を広く周知することができた。
- ・植樹祭に加え、保育の活動も行われるようになり、地域住民等の植栽木の管理等への協力意識の醸成が図られつつある。

今後の取組方針

- ・引き続き、海岸防災林が地域にとって重要な施設であることの理解の促進と、植栽木の維持・管理等への協力の意識の醸成を図るため、市、地元住民及びNPO法人等との協働を推進する。

参考（写真・図表等）



緑化推進計画 事業個票

取組番号	28			
事業・取組名	緑化グループ支援事業			
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課	
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動			
基本施策	(5) 社会総がかりの緑化活動への参加促進			
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持	<input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 広報	<input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> その他
概要	<p>本事業は、地域緑化活動の推進及び花と緑にあふれた潤いのある空間づくりを促進し、県民の緑化思想の高揚に寄与するため緑化活動を実施するボランティアに対し、その活動に要する経費を支援する。</p>			
目標	<p>緑花グループ支援事業を毎年度140団体実施することにより、自立した緑化活動の推進と地域コミュニティの形成を支援する。</p>			
評価方法	<p>緑花グループ支援事業を実施した団体数により、評価する。</p>			
関連する管理指標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 地域の緑化活動団体数（累計300団体（2025/R7））			
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の実績				
<ul style="list-style-type: none"> 地域のボランティア団体が行う公的花壇等の維持管理活動に伴う経費を支援した。公的花壇等の維持管理は、多くの人手と資金が必要となるが、ボランティア団体がグリーンバンクの支援を得て実施したことにより、市町の負担は軽減され、市民に花と緑による潤いや癒しの空間を提供している。 平成30年度から令和7年度までの累計支援団体数は、1,106団体である。 				
計画期間(平成30年度～令和7年度)中の取組の総括				
<ul style="list-style-type: none"> 地域の緑化づくりには、ボランティアの存在を欠くことができない。これまで町内会などを中心に組成されていたが、高齢化や人口減少などで組織の弱体化が懸念される。企業など新たな層への働きかけを行い、社会総がかりの緑化活動を推進した。 高齢化が進むボランティア団体は、人材確保、補助金申請、最新の植栽技術の情報入手などに苦慮している。補助事業関係書類の簡素化を図るとともに、専門化による支援体制を充実させた。 				

評価シート

取組番号	28																						
事業・取組名	緑化グループ支援事業																						
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課																				
令和7年度事業費	13,096千円																						
令和7年度の実績																							
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度は、120箇所の地域ボランティア団体に対して、公的花壇等の維持管理のための経費を支援した。 ・昨年度に引き続き65歳以上の会員が中心となって活動する団体を対象に、高齢者の意欲と豊富な知識を活用することで、持続可能な緑化活動の実現を目指した。また、ボランティアと学校が協働する学校花壇の維持管理を推進した。 																							
目標に対する評価																							
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共的花壇は、緑化グループ支援事業を活用してボランティア団体を支援することで良好に管理され、地域住民に潤いと安らぎを与えている。 <p>管理指標：地域の緑化活動団体数 令和7年度実績311団体（達成率104%）</p>																							
今後の取組方針																							
<ul style="list-style-type: none"> ・緑化ボランティア団体が高齢化しているので、新たな団体の発掘や育成に取り組んでいく。 ・地域と学校が連携して花壇活動に取り組む学校緑化活動グループ支援枠の取り組みを推進し、学校と地域の連携・協働のための体制づくりに努める。 																							
参考（写真・図表等）																							
<p>地域の緑化活動団体数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑化グループ支援</td> <td>195</td> <td>209</td> <td>221</td> </tr> <tr> <td>景観づくり</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>芝生管理活動</td> <td>63</td> <td>72</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>271</td> <td>294</td> <td>311</td> </tr> </tbody> </table>				年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	緑化グループ支援	195	209	221	景観づくり	13	13	13	芝生管理活動	63	72	77	計	271	294	311
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																				
緑化グループ支援	195	209	221																				
景観づくり	13	13	13																				
芝生管理活動	63	72	77																				
計	271	294	311																				
 <p>新居文化公園バラの会</p>																							

緑化推進計画 事業個票

取組番号	29		
事業・取組名	緑化コーディネーターの育成・活用		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動		
基本施策	(6) 緑化活動の核となる人材の育成		
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他		
概要	緑化の技術・知識などを持った、地域活動の核となる人材を育成するとともに、庭園デザインの専門家などを各地域に派遣し、緑化活動を支援する。		
目標	緑花コーディネーター養成講座（専門別緑化技術修得コース（花壇づくり研修会）・緑化コーディネーター養成コース）の修了者数の累計人数を390人にすることにより、緑化活動の核となる人材を育成する。		
評価方法	緑花コーディネーター養成講座の修了者の累計人数により、評価する。		
関連する管理指標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 緑化コーディネーター養成講座修了者数（累計390人） （2025/R7）		
計画期間（平成30年度～令和7年度）中の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域が主体となり質の高い緑化を実現するためには、確かな技術力と指導力を持った緑化活動の核となる人材が必要である。緑化等に関する複数の専門的知識を修得するための講座や研修会を実施した。 ・平成30年度から令和7年度までの緑化コーディネーター養成講座の累計修了者数は744人である。 			
計画期間（平成30年度～令和7年度）中の取組の総括			
<ul style="list-style-type: none"> ・緑化ボランティア活動は、参加するメンバーとの意思疎通やコミュニケーションづくりが重要である。そうした能力を養うカリキュラムを充実させた。 			

評価シート

取組番号	29		
事業・取組名	緑化コーディネーターの育成・活用		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課
令和7年度事業費	4,166千円		

令和7年度の実績

- ・令和7年度の緑化コーディネーター養成講座の修了者数は、専門別緑化技術修得コース（花壇づくり研修会）91人、緑化コーディネーター養成コース14人、合計105人である。
- ・受講者が参加しやすいように、昨年度に引き続き、テーマ別に1日コースを設けて開催した。

目標に対する評価

- ・緑化コーディネーター養成講座修了者数
目標R7:390人 実績R7:744人 達成率:190%
単年度で50人の増加を見込んでいる。R7は105人の増加。
- ・緑化コーディネーター養成講座の修了生を緑化グループ支援事業の新規団体に派遣し緑化活動の支援を行った。（12団体12回）

今後の取組方針

- ・緑化コーディネーター養成コースは、現地視察を含め5日間コースとして開催する。
- ・花壇づくり研修会は、実際に花壇作成の実習を行い、今後の活動にすぐに取り入れられる内容での講座開催を目指す。また1日コースを開催し、緑化に関わる人材のすその拡大と緑化専門技術の向上を図る。

参考（写真・図表等）

○緑化コーディネーター養成講座等

（単位：人）

年度	平成30年度～ 令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
累計修了者数	230	360	513	639	744



2 管理指標

①花と緑を慈しむ文化の創造

目 標	後期目標 (新目標)	令和6年度 実 績	令和7年度 実 績	(参考) 総合計画後期AP		担 当
	2025/R7	2024/R6	2025/R7	成果指標	活動指標	
自然ふれあい施設における自然体験プログラム実施回数	毎年度 180回	178回	195回	—	○	環境ふれあい課
豊かな暮らし空間創生住宅地の区画数	累計 600区画	累計 379区画	累計 379区画	○	—	住まいづくり課
芝生文化創造プロジェクトで芝生化した園庭・校庭数	96箇所	86箇所	88箇所	—	○	環境ふれあい課
複数の園庭・校庭に芝生を導入している市町数	35市町	19市町	19市町	—	—	環境ふれあい課
地域の緑化活動団体数	累計 300団体	294団体	累計 311団体	○	—	環境ふれあい課
緑化コーディネーター、芝生アドバイザー派遣箇所数	80箇所	68箇所	49箇所	—	—	環境ふれあい課
緑化優良工場としての受賞件数	累計 80件	累計 98件	累計 101件	—	—	企業立地推進課

②花と緑による地域の魅力向上

目 標	後期目標 (新目標)	令和6年度 実 績	令和7年度 実 績	(参考) 総合計画後期AP		担 当	
	2025/R7	2024/R6	2025/R7	成果指標	活動指標		
静岡県さくらの会ホームページアクセス数	毎年度 450,000回	594,079回	903,843回	—	—	環境ふれあい課	
花育活動受講者数	毎年度 2,400人	2,151人	1,503人	—	○	農産振興課	
参考指標	全国花のまちづくりコンクール受賞件数	累計 195件	累計 164件	(例年10月公表)	—	—	環境ふれあい課
	市町主催花緑コンクールの応募件数	700件	503件	444件	—	—	環境ふれあい課

③社会総がかりの緑化活動

目 標	後期目標 (新目標)	令和6年度 実 績	令和7年度 実 績	(参考) 総合計画後期AP		担 当
	2025/R7	2024/R6	2023/R5	成果指標	活動指標	
森づくり県民大作戦参加者数	毎年度 28,000人	22,760人	22,540人	○	—	環境ふれあい課
ふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数	87,600人	85,767人	90,025人	○	—	農地保全課
しずおか未来の森サポーター企業数	144社	157社	162社	—	○	環境ふれあい課
緑化コーディネーター養成講座修了者数	累計 390人	累計 639人	累計 744人	—	○	環境ふれあい課

静岡県くらし・環境部環境局
環境ふれあい課
〒420-8601
静岡県静岡市葵区追手町9番6号
電話番号 054-221-2849
発行日：2026年6月